

この様式は調査員の方が聞き取りにより記入してください。

秘

2020年農林業センサス 農林業経営体調査 客体候補名簿

名称	都道府県			市区町村			旧市区町村			農業集落			調査区			客体番号		
基本指標番号	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
修正がある場合→	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

住所または所在地	町丁・字・番地・号										ビル・マンション等名(階、号室まで)							
修正がある場合→																		

経営体の名称													経営主の氏名(代表者)					
修正がある場合→													修正がある場合→					

郵便番号	8	8	8	-	8	8	8	8	電話番号	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	修正がある場合→	8	8	8	-	8	8	8		8	修正がある場合→	8	8	8	8	8	8	8	8	8

注:電話番号は「-」(ハイフン)を除いて市外局番から左づめで記入してください。

調査客体の状況について、いずれかに記入してください。

調査区内にいない(転居等)	(1)	0
調査不能		0
調査区内にいる		0

調査はここで終了となります。

いずれかに記入		前回
家族による経営である (以前に農家または林家であった方や、家族による経営を法人化している場合もこちらに該当します)	(2)	0
家族による経営でない (集落営農等の組織経営を代表(経営)している方)		0

(注意) 家族による経営でない場合
 ○当該経営とは別に、家族としてなど農業や林業の経営を他にも行っているかどうかを聞き取ります。
 ○他にも経営を行っている場合は、その経営体が客体候補一覧表に記載されているか確認します。

注:1人暮らしまたは家族の中で1人で農業や林業を行っている場合も「家族による経営である」としてください。

当該経営について、引き続き裏面の判定を進めてください。

No.																				
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

現在の土地に関わる状況を記入してください。	前回値	(a)	(ha)	(a)
		(畝)	(町)	(反)
所有している面積 (すでに、山林・原野化した耕地は含みません。) (田・畑・樹園地の面積の合計)		(3)	8	8
うち、貸している耕地 (1年のうち、1作だけの期間を貸し付け、残りの期間を自らが利用した耕地は除く。)		(4)	8	8
うち、耕作放棄している面積 (過去1年以上作付けしておらず、数年の間に再び作付けする考えのない土地)		(5)	8	8
経営耕地面積 (自ら所有し耕作している耕地と他から借りて耕作している耕地の合計)		(6)	8	8
保有山林面積 (所有している山林のうち、貸している山林を除き、借りている山林を含めた面積)		(7)	8	8

過去1年間の農産物販売金額が (いずれかに記入)	販売なしまたは 15万円未満	前回	0
	15万円以上	(8)	0

(9)～(15)で該当するものすべてに記入してください。

農業	経営耕地面積が30a以上である	前回	(9)	0
	右下の表(物的指標)に示す規模以上の経営を営んでいる		(10)	0
	農作業及び選果選別等の受託(農業サービス)を行っている		(11)	0
林業	保有山林面積が 3ha以上で	過去5年間に育林または伐採を行っている	(12)	0
		2020年を計画期間に含む「森林経営計画」を作成している	(13)	0
	委託を受けて造林・保育を行っている		(14)	0
	委託を受けてまたは立木を購入して200m ³ 以上の木材生産を行っている		(15)	0

いずれにも記入がない場合

いずれかに記入がある場合

物的指標

- 露地野菜作付け面積が15a
- 施設野菜栽培面積が350m²
- 果樹栽培面積が10a
- 露地花き栽培面積が10a
- 施設花き栽培面積が250m²
- 搾乳牛飼養頭数が1頭
- 肥育牛飼養頭数が1頭
- 豚飼養頭数が15頭
- 採卵鶏飼養羽数が150羽
- プロイラー年間出荷羽数が1,000羽
- その他調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円に相当する事業の規模

学校、試験場などである (いずれかに記入)	該当しない	前回	0
	該当する	(16)	0

調査票を配布

調査はここで終了となります。